



公益財団法人 大阪産業局上海代表処 (大阪府上海事務所)
中国上海市延安西路 220 | 上海国際貿易中心 408室 200336 Email osaka@ibo-sh.com.cn
TEL 86-21-6270-1901 FAX 86-21-6270-1351 http://osaka-sh.com.cn

| | | | |
|-----------|------------------------|----------|--------|
| 20201102号 | 「輸入博に大注目！」 | 上海事務所副所長 | 前田 千晶 |
| 20201109号 | 「第三回中国国際輸入博覧会が開幕しました！」 | 上海事務所所長 | 長野 眞由子 |
| 20201116号 | 「中国の11月11日と言えば・・・？」 | 上海事務所副所長 | 大山 知宏 |
| 20201123号 | 「中国内陸部の雄、成都よりお届けします」 | 上海事務所所長 | 長野 眞由子 |
| 20201130号 | 「知られざるビックデータの集積地のご紹介」 | 上海事務所副所長 | 前田 千晶 |

20201102号「輸入博に大注目！」副所長 前田千晶

みなさん、こんにちは！今回のレポートは、大阪産業局上海代表処(大阪府上海事務所)副所長の前田よりお届けします。

【輸入博に大注目！】

上海に来て早くも3カ月が経過しようとしており、毎日のルーティーンが出来つつあります。私は出勤前に上海のテレビ番組を見るようにしていますが、連日「第三回中国国際輸入博覧会」(※)関連のニュースが報道されていて、注目度の高さが伺われます。

中でも、疫病対策は特に興味深い内容だったので少しご紹介します。

現在上海では、公共交通機関を利用する時はマスク着用が必須で、マスクを忘れた人向けに地下鉄の駅にはマスクの自動販売機を設置するほど感染対策が徹底されています。大勢の出展者・バイヤーが参加する輸入博においては、参加者を輸送する一部のバスには紫外線消毒器をはじめとする新たな防疫設備を設置するようです。この消毒器を使えば、30分間で車内全体の殺菌が出来るとのこと。この他にも色々な対策が講じられるようです。

毎日、新しい技術や取組みの話題に事欠かない中国。これからも旬の情報を発信できるよう日々リサーチしていきます。

※「第三回中国国際輸入博覧会」2020年11月5日から10日まで上海において行われる、国家レベルの輸入特化型の総合見本市。

20201109号「第三回中国国際輸入博覧会が開幕しました！」所長 長野眞由子

中国の、輸入をテーマとして行われる大規模展示会、中国国際輸入博覧会*(以下「輸入博」)が上海において開幕しました。4日に行われた開幕式では、習近平国家主席が登壇し、貿易だけでなく外資企業による投資の規制の緩和も進め、対外開放を加速させ、輸入の拡大をめざす旨演説したことが話題となっています。

過去 2 回の輸入博では、習主席は上海入りして開幕式で演説を行いました。今年もオンラインでの登壇となりました。また昨年までは、フランスのマクロン大統領など多くの海外賓客が来海し、登壇しましたが、今年も海外賓客もオンラインでの登壇となりました。

昨年までは国賓クラスの要人の来海により、市内中心部や輸入博会場周辺での厳しい警戒態勢や交通規制に振り回された住民の立場からすると、今年も比較的静かに過ごせてありがたい反面、上海で開催される国レベルの大イベントの華やかさが減ってしまったことが寂しい気もしています。

今回の輸入博には大阪府としても、「医療器械・医薬保健」「食品」の 2 分野で 7 社の大阪企業に出展いただいています。一つでも多くの、いい商談が実現することを期待しています！

*第三回中国国際輸入博覧会

会期：2020.11.05～11.10 会場：国家会展中心(上海)



今回の輸入博は、中国に拠点のない出展者はオンラインでの出展となりました。そのため過去 2 回に比べると展示品が少なく、これに伴いイベントとしての活気も若干少な目ではありましたが、コロナ禍の現状にあっても多くのバイヤーが来場し、大阪ブースの展示にも高い関心を示されました。

20201116 号「中国の 11 月 11 日と言えば・・・？」 副所長 大山知宏

「独身の日(ダブルイレブン)」として日本のニュースにも取り上げられるようになった、中国最大のインターネット販促イベント「双十一」が、今年も 11 月 11 日に実施され、私もこの熱狂を初体験してみました。

通販サイトの「淘宝(タオバオ)」といったオンラインストア(日本でいうアマゾンみたいなもの)で、洋服など自分の欲しいものを検索して、気に入ったものが見つかったら、ひとまずは「買い物かご」に入れるだけ。ほとんどの商品は、割引後の金額も記載されており、比較検討もしやすくなっています。

みんなこうして、11 日になるまでは普段の買い物を控えながら、時間があれば気になるものをひたすら検索して、買い物かごに入れていく「作業」が続きます。この時期、知り合いに会えば「買い物かごにどんな商品入れた？」といった挨拶があちらこちらで聞かれます(笑)。また、彼氏に「買い物かご」を見せて、「私への愛を証明して！」と謎の覚悟を迫る女性もいるとか・・・そしてイベント当日の夜は、テレビで特番が放送され(写真)、日付が 11 日に変わる深夜 12 時のタイミングで、みんな一斉に購入ボタンをポチッ！(数量限定で安く買えない場合もあります)

翌朝の職場では「無事を買えた？」といった挨拶が飛び交います。「淘宝」などを運営する、オンラインストア最大手のアリババグループは、開始 30 分でなんと約 6 兆円近くも売り上げたとか！

買い手にメリットばかりの「双十一」ですが、安いためについつい余計なものまで買い過ぎることも。これ以上タンスの肥やしを増やさないう、来年は私も慎重に買い物しようと思います・・・。

20201123号「中国内陸部の雄、成都よりお届けします」 所長 長野眞由子

今回は上海を少し離れ、四川省は成都市よりお届けいたします。成都市人民政府主催の会議への出席のため当地を訪れました。成都市は四川省の省都。辛いお料理や、パンダのふるさととしても有名ですので、日本の多くの方がそのイメージをお持ちかもしれません。

しかし今の成都市は中国内陸部でも最も勢いのあるエリア。今回の滞在中も、いたる所で新しいビルの建設が進んでいるのを見ました。常住人口 1,600 万人を超え、消費意欲がとて高く、活気に満ちた大都会です。

交通利便性も年々高まっています。成都市で二つ目の空港となる天府国際空港の建設が南東部において進んでおり、2021 年には供用開始予定とのこと。開業すれば、成都市は北京市・上海市に続き国際空港が 2 つある都市となります。

今回短い滞在ながらも、成都市の発展の勢いは十分に感じることができましたし、まだまだ発展の途中といった印象で、今後の成長が楽しみです。

当事務所といたしましても、引き続き成都市の動きに注目し、中国内陸部での大阪企業さまのビジネス拡大につながる情報を収集、発信していければと思います。加えて、当地で開催される展示会やイベント等への出展支援なども検討してまいります。



これらの写真は、「世界最大の単体ビル」と言われる環球中心という複合施設です。（上 2 枚は外観、下は中の様子です。）

出張中に少し中を視察する機会がありました。施設内にはホテルやショッピングセンター、海を模した巨大プールなどがあり、週末などには多くの人でにぎわうそうです。スケールの大きさにただただ圧倒されました。

20201130号「知られざるビックデータの集積地のご紹介」 副所長 前田千晶

今週は、省内の「貧困県」をすべて貧困から脱却させた貴州省についてご紹介します。

貴州省は中国の南西部の山間地にある一つの省。面積は 17 万 6000 平方キロ、人口は 3959 万、人口の 39%を占める 17 の少数民族が伝統を守りつつ居住している自然が豊かな地域です。あまり知られてないかもしれませんが、関西空港からの直行便もあります。

経済面で言うと、2011年に中国政府が貴州の一部地域を「貧困県」に指定し、その当時貧困人口が全国最多と言われていました。しかしその後、当地の気候を生かしたビックデータ産業を軸として、産業発展が著しく進み、今般、省内すべての地域が「貧困県」を脱却することができました。

実際に私は10月に貴州省のビックデータ関連の視察に行きました。そこでは、NTT データが合同出資した研究機関、 Tencent、アリババ、中国移動など大手企業のデータセンターがあり、IT などその他産業での発展も著しく、今後どんどん発展していく可能性のある地域であることを、身をもって感じました。

ビックデータの活用で言うと、IC チップのデータを活用することで、両親共働きの子供のテストの成績、登校時間まで厳密に管理され、親への行動報告が行えるシステムも実際に活用されていました。

このように、中国の各地の発展は著しく、日本ではなかなか注目されにくい地域でもビジネスチャンスがあります。

今後も大阪企業さまのビジネス拡大につながる情報を収集、発信していきます。

※「貧困県」：2011年政府が所得水準などを基準に指定した地域



上の写真は実際に子供の登下校のデータを管理しているシステムです。遅刻、早退した日時、テストの点数まで一目でわかります。